

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2単位	選択
担当教員			
北村 光子			

講義概要	世代間交流は、親族集団で発生すると考えられるが、現代社会の風潮をみると親世代と子世代が其々のライフスタイルを守り独立した生活を営む傾向がある。それは、家族力の弱化と地域力の低下が挙げられ地域を含む世代間交流は希薄になってきている。授業では、事例から家族構成員（特に母親像）の役割について検討していく。また、高齢者と子どもの交流によって今後の家族像を模索しながらそれに携わる専門職にあり方を検討する。		
授業計画	1	世代間交流の概要① 世代間交流とソーシャルキャピタル、学際的性格 学習課題 復習：授業を振り返りノートにまとめる。 予習：世代間の相互学習	
	2	世代間交流の概要② 世代間の相互学習・相互支援 学習課題 復習：世代間の相互学習と支援 予習：プロダクティビティの視点	
	3	世代間交流の概要③ プロダクティビティの視点からみた高齢者の次世代支援 学習課題 復習：高齢者の次世代支援 予習：高齢者の生活	
	4	各世代者対象（歴史的視点）① 高齢者の理解 学習課題 復習：高齢者の心身の状況 予習：高齢者の身体	
	5	各世代者対象（歴史的視点）② 高齢者体験 学習課題 復習：高齢者の身体的な模擬から心を考える 予習：壮年期の生活	
	6	各世代者対象（歴史的視点）③ 壮年期の理解（母親像と父親像） 学習課題 復習：壮年期の状況 予習：母親の役割（文献収集）	
	7	各世代者対象（歴史的視点）④ 母親の役割 学習課題 復習：母親像をまとめる 予習：まとめたものを文献から根拠づけする	
	8	各世代者対象（歴史的視点）⑤ 母親像の発表・ディスカッション 学習課題 復習：他の学生の考え方と自分との比較から自分なりの母親像を模索する 予習：福祉文化について調べる	
	9	世代間交流と福祉文化① 佐世保市の福祉文化 学習課題 復習：居住地の文化を知る 予習：地域の保育	
	10	世代間交流と福祉文化② 地域と保育・教育機関 学習課題 復習：居住地の福祉文化 予習：親のあり方	
	11	世代間交流と福祉文化③ 親性準備期での教育的立場 学習課題 復習：子どもの教育 予習：文化と教育	
	12	世代間交流と福祉文化④ 教育と世代間交流 学習課題 復習：教育と世代間交流の関わり 予習：幼老複合施設	
	13	世代間交流と福祉文化⑤	

	<p>幼老複合施設</p> <p>14 学習課題 復習：幼老複合施設の意義 予習：文化と子どもの成長</p> <p>専門職のあり方① 世代間交流の場</p> <p>15 学習課題 復習：子どもの成長が伺える世代間交流 予習：保育士像</p> <p>専門職のあり方② 保育と介護の関わり</p> <p>学習課題 復習：保育士・介護福祉士のあり方 予習：</p>
授業形態	<p>①世代間交流の概要がわかる。</p> <p>②歴史的背景かを捉えながら、家族構成員のあり方を考察することができる。</p> <p>③母親の役割を通して、保育のあり方を考えることができる。</p> <p>④世代間交流を踏まえ福祉文化との関連性がわかる。</p> <p>⑤子どもに対する専門職の係わりを検討し、将来の世代間交流の影響を検討することができる。</p>
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①人間の生活を学生の日常生活と比較して検討する</p> <p>②介護福祉援助展開において、介護福祉の基本原則に則った対人援助の方法と技術を習得する</p> <p>③介護福祉の専門性について基本的な考え方を習得する</p> <p>④介護職に求められる倫理観について基本的な考え方を習得する</p> <p>⑤今後の介護福祉に関する諸課題を検討し理解を深める</p>
教科書・参考書	適宜プリント配布
履修条件	6
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間後や空きコマなど、教室や研究室で質問など受け付けます。
備考・メッセージ	今回の授業範囲を予習し、自分なりの考えをまとめ授業に臨むようにしてください。